



【病虫害、雑草防除基準】

①種子消毒

名称	希釈倍率	使用方法
テクリードCフロアブル	200倍	24時間浸漬
スミチオン乳剤	1000倍	

※種子は、10aあたり3kg準備する。

②箱施薬

名称	使用量	使用時期	対象病虫害
防人箱粒剤	1箱当たり 50g	播種時 (覆土前)～ 移植当日	いもち病・ウンカ類 イネミズゾウムシ・コブノメイガ ニカメイチュウ・イネツトムシ
フルスロトル箱粒剤			いもち病・ウンカ類・紋枯病 イネミズゾウムシ・コブノメイガ ニカメイチュウ・イネツトムシ

※ミズホチカラは品種特性として、セジロウンカの被害が出やすいので、箱施薬を必ず使用して下さい。

③基幹防除（必須①）

名称	使用量	使用時期	対象病虫害
アルバリン粉剤DL	3kg	穂揃い期10日後頃	ウンカ類（※3000倍）・カメムシ類
アルバリン顆粒水溶剤	2000倍※（60～1500）		

④除草剤

名称	使用量	使用時期
ピラクロンフロアブル	500ml/10a	移植直後（雑草多発田）
ガンガン1キロ粒剤	1kg/10a	移植後3～7日（ノビエ3葉期まで）
ラオウ1キロ粒剤	1kg/10a	移植後3～7日（ノビエ2.5葉期まで）
サラブレットKAIフロアブル	500ml/10a	移植後3～7日（ノビエ2.5葉期まで）
サラブレットKAIジャンボ	400g/10a	移植後3～7日（ノビエ2.5葉期まで）
ウイニングランジャンボ	10個(500g)/10a	移植後3～7日（ノビエ2.5葉期まで）

※ガンガン1キロ粒剤・ラオウ1キロ粒剤・サラブレットKAIフロアブルについては、移植同時処理が可能です。

※ミズホチカラは、除草剤の成分「ベンゾピシクロン、メソトリオン及びテフリルトリオン」に対して感受性が高く、薬害で枯れる危険性がありますので、これらの成分を含む除草剤は使用しないで下さい。

アピログロウMX1*。粒剤・カチボンLジャンボ・レプラス1*。粒剤は薬害が出ますので、絶対に使用しないで下さい。

⑤スクミリンゴガイ対策

名称	使用量	使用時期
ジャンボたにくん	1～2kg/10a	収穫60日前まで

⑥補正防除

名称	使用量	使用時期	対象病虫害・留意事項
ドイツボルドーA（補正①）	2000倍	出穂10日前まで 「穂肥1回目」の時期	稲こうじ病 出穂まで10日間を切ってから散布すると薬害が出ますので、注意して下さい。
名称	使用量	使用時期	対象病虫害
アルバリン粉剤DL（補正①②）	3kg	収穫7日前まで	ウンカ類（※3000倍）・カメムシ類（3回以内）
アルバリン顆粒水溶剤（補正①②）	2000倍※（60～1500）		
エクシード粉剤DL（補正①②）	3kg		
エクシードフロアブル（補正①②）	2000倍（60～1500）	収穫7日前まで	ウンカ類・カメムシ類（3回以内）

※多発時以外は開花期の散布を避ける

●施肥基準

	名称	基肥	追肥①	基肥②	窒素成分量
基肥	ベスト444（14-14-14）	55	-	-	7.7
追肥	硫安（21-0-0）	-	15	15	6.3
一発肥料	ハイエムコート（30-5-5）	40～45	-	-	12.0～13.5

※追肥①は出穂20～25日前（8/10頃）、追肥②は追肥①の7～10日後（8/20頃）を目安に施肥して下さい。

栽培上の注意点 斑点米の被害粒軽減のため、基幹防除は必ず実施しましょう！

- 施肥：倒伏に強いので、収量確保のため基準通りの施肥を行きましょう。（多肥栽培）
- 移植：移植時期を遅くすると、茎数がやや確保しにくいので、出来るだけ早めに植えましょう。
- 水管理：落水は出来るだけ遅くしましょう。成熟期が遅いため、生育後半まで水を確保しましょう。
- 病虫害：品種特性で、セジロウンカの被害が出やすい。生育期間が長いので、発生に注意しましょう。
- 収穫：黄褐色粒比率80%・籾水分20%を目安に収穫しましょう。